

## 令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 7年 4月 21 日

団体所在地 広島県安芸郡府中町浜田 1 丁目 6 番 7 号  
団体の名称 社会福祉法人みどり会  
職・氏名 理事長 柳瀬 昌央  
(みどりの森ゆめのはこども園)

### 1 活動報告

#### 【4月～6月】(春季)

##### (活動内容)

- ・蝶の飼育
- ・野菜の苗植え
- ・田んぼ見学 (お米)
- ・自然体験アドバイザーによる自然体験活動

#### 【7月～9月】(夏季)

##### (活動内容)

- ・野菜の水やり
- ・野菜の収穫
- ・田植え体験

#### 【10月～12月】(秋季)

##### (活動内容)

- ・野菜の栽培
- ・田んぼへ稲の収穫
- ・野菜の収穫

#### 【1月～3月】(冬季)

##### (活動内容)

- ・自然体験活動 (恵下山探索・青空給食)

## 活動報告（詳細）

### 【4月～6月】野菜の苗植え（幼児・異年齢クラス）



苗を自分たちで買いに行くことから始まった野菜づくり。土や苗に触れながら、野菜作りの工程を行うことで生長を楽しみにしたり、自ら水やりをする姿がありました。

「やさいのおふとんかけて・・・しているのか」  
「やさしくね」「ふわふわ」  
「おみずはわたしがあげる」「いいよ」

### 【7月～9月】田植え（年長児）

#### 田植え体験



田んぼの中に入るのに最初は抵抗があった子どもたち。

目に見える虫や、どろどろに抵抗を持ちながら田んぼへ入ってみると・・・

「うわ、あしがうごかん」  
「どうやっていくん」

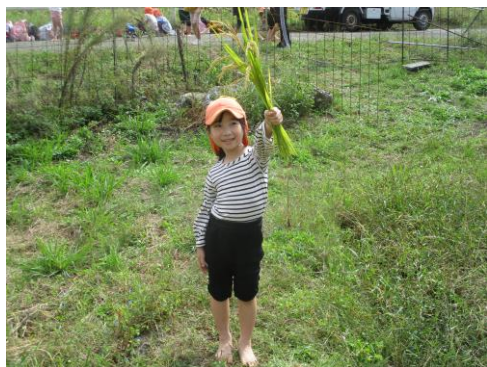
こけそうになりながらも田んぼの中を進んでいきます。

「きもちい!」「どろどろじゃあ」

泥の気持ちよさや、お米を作るまでにこういった作業をしているのかを子どもたちなりに感じていました。

【10月～12月】稲の収穫（年長児）

（写真）



秋になり、夏前に植えた稲もすっかり生長していました。いざ、稲刈りへ！

以前、入った田んぼとの違いに気付き、乾いている土を見て、早く入りたい！入ってみたい！とワクワクでした。

「ぜんぜんどろどろじゃない」「葉っぱ（稲）が大きくなってる」

「このきいろいのおこめ？」「ちいさ！」

「よーし！とれたよ」

「お米工場みたいにお米にする？」

「もっかいやりたい！」

稲刈りがおもしろい、とい 3・4 回田んぼに入る子ども達でした。

【1月～3月】自然体験活動（二歳児）

（写真）



自然体験活動で、自然体験アドバイザーの菊間さんと草むらに探検へ行きました。

葉っぱをたたんで噛むと、模様がつくことを教えてもらった子どもたちは、不思議さと面白さで葉っぱ探しに夢中でした。

「なにそれ」

「やってみる」「おいしいの？」

『噛んでごらん』（パクッ）

「おいしくなーい」

『葉っぱあけてごらん』

「なっとる？」『もようができたかな』

葉っぱを開くのにも夢中でした。

## 2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）

- ・ 地域との関わりについて

昨年に引き続き、白木の田んぼで米作りを行っている方（神明さん）の所へ行く。田んぼで実際に田植えや稲刈りの体験をさせていただく。

平成の花さかじいさんと交流（パンジーの苗植え、門松づくり）

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

|       |                                        |
|-------|----------------------------------------|
| U R L | インスタグラム midorinomori_yumenoha_kodomoen |
|-------|----------------------------------------|